

市の企業誘致広告を目にしたのが、進出のきっかけだという。「技術が売りの会社。日本一になり、世界を目指して雇用を増やしたい」と意気込みを語った。

岩切秀雄市長は「厳しい状況の中での進出はありがたい。会社が大きく育つよう市としても最大限の協力をしたい」と期待感を示した。

南和の太陽光発電所が起工
志布志市有明
建設資材総合商社の南和（鹿児島市）は27日、志布志市有明に建設する大規模太陽光発電所（メガソーラー）の起工式をした（写真）。出力は約1400キロワットで、来年6月の稼働を目指す。

同社は、企業や自治体など大口契約者向けに電力を販売する県内初の特定規模電気事業者（新電力）。建設するメガソーラーの敷地は建設資材工場の跡地で、広さ約2万1千平方メートル約5600枚を並方格となる。太陽光パネル約8万キロワット（一般家庭の約450世帯相当）を見込む。総事業費は約4億円。

式には関係者約40人が出席。川畠英樹社長（62）は「再生可能エネルギーの地産地消で、地域に貢献したい。地元自治体や企業などへ、浸透を図っていきたい」と話した。同市内のメガソーラー

一建設は2カ所目。本田修一市長（64）は「新電力ということで、地域産業の活力になつてほしい」と期待を込めた。

国分制作センター 太陽光発電を着工
南日本新聞開発センター（鹿児島市、坂口猛社長）は27日、霧島市国分上之段にある国分制作センターの遊休地で太陽光発電所の建設に着手したと発表した。出力は5百瓩。2013年3月の稼働を目指す。総事業費は約1億8千万円。

南日本新聞開発センターは1997年、旧

鹿児島税関支署がまとめた10月分の管内貿易概況によると、輸出入とも大幅減となつた。輸出は、志布志出



輸出入上